ス。 本版其ノ他材料ニハ支障ナシ

兼習者 「省略

昭和十八年度臨時版画教室概況報告 ノ件

[昭和十九年九月二十八日報告

案

年 月 H

學校長

伯爵陸奥陽之助 木村鑛吉 (各一通

拝啓 教室昭和十八年度概況別記ノ通ニ有之候間此段御報告候也 ´渋谷区代々木初台町六○六木村鑛吉宛二通送付 益々御清穆之段奉賀状 陳者御援助ニ依リ開設中ノ臨時版

昭 和十八年度臨時版画教室授業概況報告

リノ授業継續不能ノ状態トナレルハ遺憾ナリトス。 材料ノ點ニ於テ主材料タル銅板及木材ノ獲得困難トナリ當分豫定通 部、 従来本校各科ヨリ希望者ヲ四月中ニ募集シ一ケ年ノ豫定ニテ銅版画 ニテ僅少ノ志望者ハ殆ンド全部兼修シ得ザル状況ニ相成リタリ、 木版画部ノ兼修ヲ許可セルモ昨年ハ應募セル者モ入隊、 應召等

年 シムル 師 シ右ニ要シタル資材ハ僅少ナルヲ以テ師範科所有ノモノヲ使用セシ 範科ニ於テハ豫テ版画ノ重要性ヲ認メ國家教育上ヨリ之ヲ普及 一ヶ年ハ之ヲ利用セシメタリ 同三學年ニハ銅版画ヲ課シ相當ノ効果ヲ収メ得タリト信ス ノ可能ナルヲ認メ生徒ニ銅版木版ノ實習ヲ為サシムルタメ昨 主トシテ師範科一學年 ニ 木版 但 画

> 當分右教室ヲ師範科教授用ニ使用セシメラレ度シ、 メタリ

> > 指導ハ主トシテ

教授松田義之コレニ當ル 昭和十九年九月

版画教室代理 松田 義之

15 お 版画兼習生数は次のとおりであった。

版画	チング	和年
部	部	4.
26	18	10
20	17	11
22	18	12
16	12	13
8	7	14
1	9	15
11	7	16
15	11	17
不以明下		18

書類・版画兼修、 以上、 「特殊文書綴典務」 セメント美術兼修ニ関スル書類教務」による。) 「自昭和八年四月工芸科実技兼修二関スル

3 依嘱製作に関する内規制定

昭 和十年、 左記の内規が制定された。

依囑製作ニ關スル內規

本校ノ依囑製作ハ製作物ノ種類ニョリ校長ノ命ヲ以テ教官中 リ製作擔任者又ハ製作監督者ヲ定メ之ヲ實行

繪畫、 工藝品等ノ製作ヲ命セラレタル製作擔任者ハ其圖様ニ就 承認ヲ受クルヲ要ス 彫刻 (主ニ銅像原型) ルキ校長

前項ノ製作物完了シタル時ハ校長ノ檢閱ヲ經タル後製作料ヲ 工藝品ノ圖案又ハ模型、 小銅像小 直 713

第13節 昭和10年

サル場合ノ外ハ本校内ニ於テ製作スルヲ本旨トスヘシタル者ハ本校學生ノ見學及研究生ノ實地指導ニ資スル爲止ヲ得大ナル銅像ノ實材工作又ハ多量ノ工藝品ノ製作監督ヲ命セラレ

本校外ニ於テ一部分ノ工作ヲ爲ス事ヲ得一前項ノ製作ニ關シテハ臨時職工ヲ雇入レ又止ムヲ得サル場合ハ

なり、

同十八年三月に解嘱となっている。

前項ノ製作ニ要スル實材ハ本校ヨリ之ヲ交付スルモ特殊ノ材料

ハ工作者ニー任スル事ヲ得

ヲ負フベシ製作監督者ハ所定ノ經費、期限、及職工取締ニ關シ一切ノ責任製作監督者ハ所定ノ經費、期限、及職工取締ニ關シ一切ノ責任前二項ニ關スル職工給料及特殊材料費等ハ直接工作者ニ支給ス

製作監督者ニ對シテハ相當ノ監督料ヲ支給ス 以上

(「鱼大正十年 本校内規及取扱決議書類」)

無かったことがこれによって分かる。 重)はあったものの、学校としての該事業に関する基本的な規程は 案相伺候也」と記されている。従来は製作依頼者に関する規定(37 理上差支候ニ付同内規ヲ制定シ爾後同内規ニ基キ取扱ヒ度別紙内規 型・ニ関シテハ従来何等規程ナカリシ為メ其取扱ヒモ區々ニ亘リ處 製作ニ関シテハ従来何等規程ナカリシ為メ其取扱ヒモ區々ニ亘リ處

4 富永惣一の起用

授業担当)兼任を命ぜられた。富永は明治三十五年九月十八日東京昭和十年一月九日、学習院教授富永惣一は本校講師(フランス語

仏 事 講 らは西洋彫刻史授業担任 に生まれ、 務嘱託となった。 師 独、 同 伊、 四 年同教授となり、 大正十五年東京帝国大学文学部を卒業、 米へ留学している。 同六年から八年にかけて宮内省留学生 (無報酬)、 同五年には帝国美術院附属美術研究所 本校においては昭和十二年四月 事務 嘱 託 (教務課教務掛) 昭和一 年学習院 として 2

⑤ 矢代幸雄の海外出張

イツ、 ランド、 由 館 国と列記されている。また、 ランス、スペイン、ポルトガル、イギリス、カナダ、アメリカ合衆 類 中旬から約十カ月間。 アリ」(「五年職員関係書類無務」) 講演ヲ兼ネ序ヲ以テ歐米各國ニ於ケル美術上ノ調査ヲナサシムル を命ぜられた。 授ヲ出張中當省臨時囑託 立場ヨリ 本美術ニ関スル巡回講師トシテ同教授ノ派遣ヲ求メ来リタル 中 昭 K 美術館及日本諸美術品展覽會開催等ニ關シ同教授へ專門家タル より同十七日付で事務を委託した Ö 和十年五月十三日、 チェコスロヴァキア、 「旅券請求ノ件」 ノ調査ヲ命シ將來當方執務上ノ參考ニ資シ度キニ由リ同教 スウェーデン、 「英國大學聯合事務局ヨリ國際文化振興會ヲ 旅費は国際文化振興会から支給された。 教授矢代幸雄は文部省より欧米各 ノルウェー、デンマーク、ポーランド、 (無給) (控) オーストリア、 外務省は「英國各地方ノ大學、 というのがその目的で、 によれば旅行国名がロシア、フィ タラシムルコトト致度」とい スイス、 イタリア、 期間は五月 玉 通シ日 コリ右 博 Ш フ 物